

議会 ごかせ だより

July
第 49 号
平成 30 年 7 月 10 日発行



坂本小学校
田植え授業



三ヶ所小学校
ドラゴンボート



上組小学校
いも植え授業



鞍岡小学校
すもう大会

目次

- 平成 30 年度予算 …… P2
- 平成 29 年度補正予算 …… P3
- 一般質問 …… P4~7
- 総括質疑 他 …… P8~9
- 話題あれこれ 他 …… P10~11
- 議会活動 他 …… P12

平成30年 第2回五ヶ瀬町議会定例会

町議会では第2回定例会を6月6日に開会し、15日までの10日間の日程で行いました。

今回の議会上程された議案は、報告（専決処分他）11件と議案13件でした。議案の主なものは、五ヶ瀬町副町長の選任同意、西白杵郡公平委員会委員の選任同意、条例の一部改正、平成30年度補正予算、五ヶ瀬町監査委員の選任同意でした。慎重に審議を重ね全会一致で可決しました。

平成30年度 一般会計補正予算

2億1千850万円追加し

総額38億1千150万円に!

歳入

地方交付税 3,848万円

国庫支出金 6,052万円

県支出金 7,915万円

歳出

総務費 7,009万円

民生費 351万円

農林水産費 8,418万円

商工費 774万円

土木費 △1,627万円

教育費 809万円

災害復旧費 6,270万円

特別会計補正予算額

介護保険特別会計 78万円

奨学金特別会計 299万円



用水路工事が待たれる農地



建設基本計画が進む役場庁舎

・・・交付金等の額が確定し、収支を明確にしたもの・・・

5千420万9千円を減額し、
総額**42億8千429万1千円**に

6月議会での専決処分

- ・五ヶ瀬町税条例等の一部改正
- ・五ヶ瀬町保育料条例の一部改正
- ・五ヶ瀬町国民健康保険条例の一部改正
- ・五ヶ瀬町国民健康保険税条例の一部改正
- ・平成29年度一般会計補正予算
- ・平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算
- ・平成29年度国民健康保険特別会計補正予算
- ・平成29年度国民健康保険病院事業会計補正予算
- ・平成29年度介護保険特別会計補正予算
- ・平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算

報告

・繰越明許費繰越計算書

繰越明許費とは・・・

地方自治法の規定により、翌年度に繰り越して利用することのできる経費

農林水産費
畜産事業費他

2,277万円

土木費
工事請負費他

1,912万円

災害復旧費
現年発生農地農業用
災害復旧費

2億9,749万円

- 人事案件
- ・五ヶ瀬町副町長の選任同意について
 - 五ヶ瀬町大字桑野内 宮崎信雄氏
 - ・西臼杵郡公平委員会委員の選任同意について
 - 日之影町大字吉井川 馬崎英俊氏
 - ・五ヶ瀬町監査委員の選任同意について
 - 五ヶ瀬町大字桑野内 佐藤成志氏
- 条例の一部改正
- ・五ヶ瀬町課設置条例の一部改正について
 - ・五ヶ瀬町職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正について
 - ・五ヶ瀬町使用料及び手数料徴収条例の一部改正について
 - ・五ヶ瀬町営住宅管理条例の一部改正について
 - ・五ヶ瀬町佐伯勝元教育基金奨学金条例の一部改正について



復旧工事が完了した農地



甲斐政国議員

一般質問

小・中学校の施設整備状況について

教育長

緊急性を鑑み、優先順位を勘案し進める。

問 各校の共通事項として、給食調理室と校長室・事務室のエアコン設置は。

教育長

今年度、職員室に設置する。

給食調理室及び校長室等については、状況等を踏まえ調査し、計画的に導入を図る。

問 鞍岡小学校トイレ対策・赤松広場の枯損木処理・グラウンドトラック部分の排水対策。

通学路関係で、街路灯及び空き家屋根からの瓦崩落対策は。

教育長

トイレが一階にしかなく、不便をかけていることは承知している。構造上の問題もあり、

問 教育施設及び通学路は、子ども達にとって安心安全な環境でなければならぬ。十分でないところは、要望として提案されていると思われる。要望に対する整備状況及び課題等について、どの様に対応されているか。

教育長

各小・中学校を訪問し要望を聴取。予算編成に反映させるため、校長等とヒアリングを実施している。

緊急性を鑑み、優先順位を勘案して改修等進める。

通学路については、五ヶ瀬町通学路安全プログラムに基づき、関係機関と通学路の点検を隔年で行っている。その結果を踏まえて検討する。



倒木の恐れがある松枯損木

問 坂本小学校視聴覚室の手すり設置・水道施設の抜本的対策・体育館下駐車場の陥没対策は。

教育長

手すりの件は、他の場所も含め調査するようになっている。

水道の件は、二段構えの予備タンクをつけ、給食調理室は浄水器を取り付けて対応。他の箇所についても、浄水器での対応を考えている。

改善が見られない時は、抜本的に対策を講じなければと考えている。

駐車場の陥没処理については、工事見積もりを依頼している。

問 三ヶ所小学校校舎前駐車場の防犯灯設置・「学び坂」の街路灯設置と路面補修については。

教育長

駐車場の街灯については、優先順位的に設置が遅れているが、学校と協議し対策を講じる。

「学び坂」については、通学路安全プログラムの合同点検で、学舎は把握している。学

校及び関係課等と協議を進め、対策を講じる。



防犯灯の設置が望まれる駐車場

問 上組小学校体育館の用具倉庫設置・学校下の歩道（通学路）の亀裂及び校舎周りの亀裂対策は。

教育長

歩道の亀裂については、通学路安全点検が七月に予定されている。西白杆支庁も参加するため、しっかり見て頂く。

体育館倉庫の設置については、かなり難しいと感じている。先ずは、これまで同様学校側に、子ども達の安全面に配慮するよう指導して頂きたい。

問 五ヶ瀬中学校の体育館雨漏り対策は。

教育長

通気口からの雨の浸入による雨漏りを防止するため、修繕を依頼している。

町長

給食調理室等の空調施設については、職場環境を考慮し、働きやすい職場を念頭に一つ一つ考えながら解消に努めている。

防犯対策や街路灯、緊急性については、優先部分については、優先して関係各課と協議したい。

水道水に対しては、地域の状況を踏まえつつ対策を講じたい。抜本的対策も必要。

選択と集中という基本的な考えの基、学校側にも説明責任を果たしながら対応したい。



高温多湿の給食調理室



秋本良一議員

町長 農業生産強化を図るプロジェクトとしての施策は。

町長 10年前からすると農家戸数、農業生産額とも三割減少している現状である。今後は、農業を担う若手の認定農業者、農業法人、集落営農組織等の意欲ある人の参画を求め、地域農業再生協議会五ヶ瀬版として取り組む。

町長 強い農業、儲かる農業を目指す施策の一つとして、基盤整備が必要と思うが。

町長 農家負担金不要の小規模基盤整備事業を活用して行く。

町長 林業事業者で、伐採・搬出・植林まで一連の事業者に対する優遇措置の考えは。

町行政の政策・農林商工業について

町長 最も重要・最優先に取り組む。

農林課長 福利厚生の部分で助成する。



林業関係者の研修

町長 商工業の育成、商店街の活性化に向けての政策は。

町長

九州中央道の開通に合わせ、活性化策を早急に練って行く。行政・医療福祉・商業活性化・教育移住・文化交流等区画した構想も視野に入れ議論して行く。

町長 商工会の存在意義、社会的責任もある。

今後、農林業や福祉等一体となった取り組みができないものか。

また、中央道計画に伴う道の駅構想で、商工会及び会員の持続性を含めた考えは。

町長

商工業のみでの経営体制では厳しい状況と、農林業振興が商工業の発展にもつながることなので、一つ一つの課題解決へと進める。



活性化が望まれる商店街



佐藤成志議員

町長 二期目の就任に当たり、今後四年間の町政運営において、10項目の目標が掲げられている。

その中で、Uターン・Iターンの推進、想定以上に進行している人口減少対策として、定住促進を行いたいと思は、具体的な取り組みは。

町長

五ヶ瀬町出身者のための相談窓口を設置し、若者から定年退職者まで、Uターンを考えている方へのサービス提供ができないかと考えている。

定住促進住宅については、住宅地の分譲を含む、五ヶ瀬町オリジナル住宅整備に前向きに挑戦したい。

町長 定住促進住宅は、町営住宅で考えているのか。

Uターン・Iターンの推進、定住促進の具体的な取り組みは

町長 五ヶ瀬町版定住促進住宅の整備。

町長

町単独での予算化となるが、地方創生事業の定住促進という名目で、住宅地造成はできないものか調査研究を行う。

町長 民設民営で、家賃の補助という考えもあるが。

町長

民間活力を生かした住宅整備もやってみたい。色々な形でアプローチしたいと考えている。



定住促進の鍵となる町営住宅

一般質問

ＩＴ企業誘致への挑戦とあるが

町長

地理的条件を生かしたＩＴ企業誘致を目指す。

問 町内でも人手不足が続いている。だが、町内での職種は限られているため、選んでいたらなかなか仕事がない状況。

ＩＴ企業の誘致で、選択幅が広がるであろうが、その見通しは。

での子どもの誕生は二人であった。切羽詰まった状況。定住促進、企業誘致に早く対策をしてもらいたい。

町長

子どもを安心して産める環境づくりも重要であり、そのことも含めて、最大限の努力をする。



綾 健一議員

問 二期目に向けての町政がスタートした。

重点施策の一つとして、「道路交通網の整備

で活力ある町づくりの推進」とあるが、町民からの要望には、予算が限られて厳しいとの意見を聞く。今後、町道等の整備計画における財源の確保についての考えは。

町長

町が事業主体として行う道路整備については、補助事業や制度事業を最大限に活用しながら、将来の町行政に大きな負担を負わせないよう財源規律を守り、重要性や緊急性を総合的に判断しながら整備を進める。

財源確保については、補助事業及び地方交付税の恒常的な確保のため、提言・要望活動を実施し、その他の財源としての「ふるさと納税」対策など、様々な取り組みを加速させる考えである。

町長

補助事業の確保等、様々な取り組みを加速。

問 財源確保のための、プロジェクトチーム立ち上げの考えは。

町長

当面その考えはない。当面を含め、担当課と議会を含め、担当課と意見交換をし、アンテナ高く情報収集に努めたい。

町長

町道等の路面が粗悪になり、事故や災害発生の危険性があると町民の声を聞く。道路の維持管理は喫緊の課題と感じ、財源がないではなく、財源の確保をどう進めるかの議論が必要では。

町長

本町の財政規律を守りながら進めなければならず、厳しい状況はご理解いただきたい。道路改良については、優先度の高いものから整備することが基本と考える。

自主財源を確保するためには、新たな財源を確保するしかなく、今後積極的に強化を図る。

町長 光ケーブルの敷設が完了。地理的条件を生かしたＩＴ企業誘致を目指したい。

問 定住促進と共に進めていかないと、Ｕターン・リターンを呼びかけても難しい。

今年二月から五月ま



補修が待たれる町道



特産センター出入り口の安全対策について

企画課長

障害物を移転。出入り口を一ヶ所に。

問

特産センターは販売実績及び来客数も順調に推移し、増加傾向にある。

その様な中で、来客者が出入りされる際に、事故につながる危険な状況を幾度か目にした。当該国道は、交通量も多く直線で速度も出やすい。見通しの悪い駐車場出入り口の安全対策は。

企画課長

看板や電柱、道路標識等の障害物を移転し、出入り口を山都町側一ヶ所にする考えである。支庁土木課とも現地を確認し、問題ないと返答をもらっている。



安全対策が急がれる特産センター出入り口

一般質問



白瀧徹哉議員

教育のまち五ヶ瀬町の展開について

教育長

社会教育を重点に。

考えである。また、生涯学習特別講座・大人のG授業を実施すると共に、読書の推進を図る。

本年度より、国際化・大学入試制度に対応できるように、小学六年生と中学生全員に英語検定試験を受講させ、佐伯勝元基金を活用した奨学金制度の運用を図る。魅力ある町となるよう、教育の基盤を図る。

兵庫教育大学等が本町の教育システムについて聞きに来られ、教育関係者の関心が高まっている。

町長は公約の中で、「教育の町づくり」を掲げているが、町の活性化への対策は。

町長

五ヶ瀬教育ビジョンの基本的な考え方の基に、体験活動や五ヶ瀬デザインプロジェクトを新たな取り組みに加えたことで、学力の向上や、地域を知り五ヶ瀬を愛する子どもの育成に大きな成果を上げている。

教育長

スタート当初に比べれば県内外に認知され、視察の件数は減少しているが、大きな変化としては、これまで多く委員会関係者が多く見えていたが、今年度は福岡大学・宮崎大学・

五ヶ瀬町の教育環境だけに憧れて移住して下さるのは誠に、生活環境等総合的な環境整備が必要で、そのため医療・福祉を含めた町づくりを行うための、次なる思いの十箇条を整備した。

限られた財源の中で、最大限の子育て支援策を講じているが、他の自治体の取り組みも検証しながら、更に充実を図る必要がある。



修学旅行・東京大山商店街でのG授業



五ヶ瀬中学生が発表したエリア会議

総括質疑

Q 地域振興費 非常勤職員報酬2名分330万円の内訳は。

A 地域おこし協力隊1名分と集落支援員1名分の報酬である。

Q 集落支援員の募集は。

A 買い物支援、交通弱者対策、施設管理運営等の事業内容で、8区がモデル的に行うもの。

Q 観光費修繕料の132万円の内訳は。

A 木地屋の浴場修理、1階部分のシャッターの修繕である。

Q 五ヶ瀬町奨学金特別会計奨学金費300万円の内訳は。

A 奨学金に5名の申込み有り、月額5万円、年60万円で合計300万円。

Q 人口減少対策事業委託料50万円の内訳は。

A 当初138万円計上したが、不足する部分を補正した。地方創生計画の人工ビジョンは作成されているが、その後の人口の動きを小学校単位の細かい地域での人口状況を調査するもの。

Q 農地費 工事請負費3,363万円の内訳は。

A 当初予算に県の内示に伴い増額分を計上。中山間地域総合整備事業1,862万円、基盤整備促進事業401万円、活力あるふるさとづくり事業1,100万円の増額。

Q 無線管理費 委託料1,000万円の相手先、事業の内容、デジタル化に向けた今後の工程は。

A 事業の相手先、内容については検討中。今後公募でプロポーザルをかけ事業を決定。事業完了を平成33年3月までとしている。



基盤整備された農地

Q 老人福祉費 報償費32万円と委託料△32万円の関係は。

A これまで一人暮らしの高齢者の見守りを郵便局に委託していたが、今後は介護ボランティア養成講座の受講者をお願いするため。

Q 児童福祉施設費 委託料の103万円は何を委託するのか。

A 子ども子育て支援事業計画をたてるためのニーズ調査委託費である。

Q 森林公園事業費 委託料280万円は何の委託か。又、リフト整備部品、原材料171万円と消耗品費108万円の関係は。備品購入費100万円の内容は。

A 委託料はスキー場のPR事業、内容は今後検討。原材料は正規の科目である消耗品費に改め、不足分を計上した。備品購入は中古軽トラックを購入。



平成29年災害（戸根川）



デジタル化が待たれる防災無線

Q 道路新設改良費工事請負費が△2,598万円減額だが、町民への影響は。

A 国の内示に伴う減額。担当課としては町民への影響が出ない様に、今後も計画的に予算要求を実施したい。

Q 災害復旧費国庫負担金5,075万円の事業は何ヶ所分か。

A 平成29年度発生災害11ヶ所分の国からの負担金受け入れ分。

Q 農林水産業費補助金 県単土地改良事業補助金250万円ソフト事業分とは。

A 県営中山間事業の効果を算定するための事業補助金である。

Q 過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業補助金1,989万円の内容は。

A 歳入の過疎地域等自立活性化推進交付金(同額)を活用した、地域づくりネットワーク協議会への補助金。内容は基幹事業として座談会や地域の課題の掘り起こし。お茶と6次産業化をテーマとした事業や、五ヶ瀬ファンクラブを強化し、関係人口を増やす取組み。特産センターの販売力強化等への補助金。



平成 29 年災害 (戸川)

議 会 構 成 表

※平成30年6月15日構成
(平成30年6月15日現在)

議 長 小 笠 ま ゆ み

副 議 長 白 瀧 徹 哉

総務農林常任委員会	
委員長	綾 健一
副委員長	佐藤 成志
委員	甲斐 松男
委員	小笠まゆみ

文教福祉常任委員会	
委員長	秋本 良一
副委員長	甲斐 政國
委員	甲斐 啓裕
委員	白瀧 徹哉

議会運営委員会	
委員長	甲斐 松男
副委員長	甲斐 政國
委員	綾 健一
委員	秋本 良一

行財政改革特別委員会	
委員長	白瀧 徹哉
副委員長	甲斐 啓裕

※議長を除く7名で構成

議会広報編集委員会	
委員長	甲斐 政國
副委員長	綾 健一
委員	秋本 良一
委員	佐藤 成志

議会選出監査委員	
佐藤 成志	

西白村広域行政事務組合議会議員	
小笠まゆみ	
綾 健一	
秋本 良一	

宮崎県北部広域行政事務組合議会議員	
綾 健一	
秋本 良一	

五ヶ瀬町森林・林業活性化協議会	
会 長	綾 健一
副 会 長	佐藤 成志
幹 事	甲斐 松男
幹 事	小笠まゆみ

※総務農林常任委員が兼ねる

病院運営協議会	
秋本 良一	
甲斐 政國	

※文教福祉常任副委員長が兼ねる

国保運営協議会	
秋本 良一	

※文教福祉常任委員長が兼ねる

議会事務局	
事務局長	奥村 和平
書 記	西川 公香

TEL : 0982-82-1711
FAX : 0982-82-1723
gikai@town.gokase.miyazaki.jp

6月議会の一般質問には、県立五ヶ瀬中等教育学校の前期生、3年生36名が傍聴に訪れました。

熱心に質疑応答の状況を傍聴し、今後の参考になればと4名の方より感想を送付して頂きました。

集約して掲載いたします。

初めて議会を傍聴させていただき、議員の方々は五ヶ瀬町のために町内の様々な環境を把握した上で、町民の方々の声を聞いて、町を良くするため一生懸命なことがよく伝わってきた。

議員の数は決して多くないけれど、議員一人一人が町と向き合って良くなるよう努力しているから、五ヶ瀬町は良い町でいられるのだらうと思った。

五ヶ瀬町の課題は、財源の確保ではないかと考えた。議員が提案しても、予算の都合で後回しになったり、できなかったりするのはいらない。

五ヶ瀬の魅力を最大限に活かし、もっと良くなれば良いなと思った。

五ヶ瀬町の各施設などの現状、課題を知ることができた。議員は、現場に行ったり、直接話を聞いたりと、五ヶ瀬町のために何が出来るかをしっかり考えていると感じた。

どの課題にも共通することで、お金が必要になってくる。優先順位を考えていくもの大切だと感じた。人口減少や少子高齢化等だけでなく、施設の問題や商業的な問題もあると知った。

いつかこの課題を解決するため、今自分に何が出来るか考える材料になった。

議会の傍聴を通して、五ヶ瀬町の色々な課題や、自治体の会議がいかに深く、将来を見据えたものであるのかが分かった。議会がどれ程真剣に五ヶ瀬のことを考えているのか「郷土愛」というものが伝わった。

五ヶ瀬町の現状を楽観的に考えてはいけいない。PRなど自分たちにも出来る気がする。積極的に五ヶ瀬町の役に立ちたい。いつか五ヶ瀬町に恩返しをしたい。

議員の皆さんは、私達の安全や教育のために、色々と考えてくれているのだなと思った。

議員は鋭い質問をするものだなとも感じた。また、それにきちんと答えられる町長・教育長・課長にも感心させられた。

今後、議会を傍聴することはないかもしれないので、貴重な体験となった。この事を今後の課題研究に活かしていきたいと思う。



五ヶ瀬中等教育学校の傍聴の様子

五ヶ瀬ワイナリー 経営状況について(第15期)

工場売上高	1億878万円
ワイン館の売上高	6,347万円
レストラン「雲の上のぶどう」売上高	1,941万円
農園売上高・生産高	735万円



五ヶ瀬ワイナリーについては、熊本地震の影響で減少していた来館客数が増えたこと、ワイン館への出荷高が増えたこと等がプラス要因となった反面、町内小売店や卸関係への出荷高が減少し、最終的に微増となった。

直売所である「ワイン館」の売上高は、前期に対し、914万円の増であった。企画募集型ツアーや一般団体客の利用が回復傾向にあることがプラス要因と考えられる。

レストラン「雲の上のぶどう」の売上高は1,941万円で前期に対して522万円の増であり、過去最高となった。震災の影響で減少していたツアー客や一般団体客の利用が回復して来たことがプラス要因にもなり、夜の予約営業が好調、又同窓会や法事等の利用客が増えたことも大きな要因とみられる。

農園売上高は735万円で、前期に対して118万円の増となり、自社管理のぶどう生産量は着実に増えている状況である。

五ヶ瀬全体のぶどう収穫量は114tの収穫で33%増となっており、その内の18tが自社収穫分となっている。

営業努力の改善がみられ生産農家の所得向上に期待できると思われる。



昨年のワイナリー収穫祭

=シリーズ= 話題あれこれ

五ヶ瀬初、町内4地区の伝統文化「神楽の祭典」開催。

5月20日、旧鞍岡中学校体育館で行われ、町内外から約450人が鑑賞されました。

鑑賞された方々の「来年もやって欲しい。」の声に、神楽保存会員も「やる気満々。」でした。



祇園神楽

高齢者向け配食サービス、週3日が6月1日より5日になりました。健康を願い、栄養バランスも考慮。見守りを兼ねての活動に「感謝」。

「福祉関係にも携わりたいとおもっていたところに、声がかかり喜んでいる。」と、よこっちょのメンバーの声。

「季節・食感を味わってもらよう心がけています。」



よこっちょによる配食サービス

議 会 活 動

議会活動

4月行事

- 4日 九州中央自動車道五ヶ瀬～高千穂道路事業化決定せしめモノ
- 10日 五ヶ瀬中学校入学式 ・ 議会全員協議会
- 11日 五ヶ瀬中等教育学校入学式 ・ 鞍岡地区戦没者追悼式
- 12日 町内小学校入学式 ・ 西臼杵郡森林・林業活性化協議会役員会
- 25日 三ヶ所地区戦没者追悼式 ・ 議会運営委員会

5月行事

- 1日 五ヶ瀬町教職員全体懇談会
- 1日 人づくり・地域づくり中山間エリア会議
- 14日 西臼杵郡森林・林業活性化協議会総会
- 23日 九州中央道建設促進沿線議会期成会合同理事会
- 30日 議会全員協議会
- 31日 議会運営委員会



中山間エリア会議 発表

6月行事

- 6日 第2回議会定例会(初日)
- 13日 第2回議会定例会(一般質問)
- 15日 第2回議会定例会(最終日) ・ 行財政改革特別委員会
- 20日 ごかせ観光協会総会
- 21日 宮崎県乾椎茸生産者大会及び意見交換会
- 29日 西臼杵郡森林・林業活性化協議会役員会



中山間エリア会議 意見交換

7月行事予定

- 6日 公民館長会との意見交換会
- 11日 九州中央道沿線議会決起大会
- 17日 西臼杵支庁との意見交換会
- 18日 宮崎県森林・林業活性化議員連盟研修会

季節の花



どうぞ、傍聴席へ
次の定例会は、30年9月開会予定です。
傍聴の申し込みは、お気軽に議事事務局
へお尋ね下さい。
● 議会事務局 ☎八二一七二

編集後記

早いもので、今年もすでに半年が過ぎました。歳を重ねる毎に日頃の経つのを早く感じるのは私だけでしょうか。

今年度、庁舎の耐震性が低いと言われていること、建て替えを余儀なくされ、新庁舎建設検討の運びとなりました。庁舎は、町民の要となる施設であり、よりしてもあります。大きく、施設の内容とれをとってみて、大切でありますので、内容の濃い協議を望むものです。

さて、議会ではより多くの町民の皆様方の声を聞くため、各種団体等を含め意見交換会を実施していくことになりました。議会報告会とは違った取り組みで、職場職員の集まりや小さな集会など、多種多様な会に出かけて参ります。町民の忌憚のない意見を聞き、町政に反映することを目的として行いますので、皆様方からはもちろん、議会からも声をかけますので、是非出席をお願い致します。

梅雨明けと同時に、暑い日々が続きます。今年も超猛暑日があるとの予報も出ていますので、くれぐれも体調管理には注意されてお過ごしください。

発行責任者

議長 小笠 まゆみ
副議長 甲斐 健一
委員 佐藤 成一
委員 秋本 良一

議会広報編集委員会
委員長 甲斐 健一
副委員長 佐藤 成一
委員 秋本 良一